

# ニュース和歌山 2025年9月20日号の 「おしえて!マイドクターQ&A」に掲載。

# Q

ピアノの演奏がうまくできなくな  
り、ジストニアと言われました。



社会医療法人三車会  
公式キャラクター  
みくまくん

## 《回答者》

### ◆整形外科

貴志川リハビリ  
テーション病院

手外科専門医・足の外科認定医  
整形外科専門医

谷口 泰徳 副院長



ジストニアは手  
に意図しない動き  
を発症する病気で、

書<sup>しよけい</sup>痙とも呼ばれます。有名な  
作曲家のロベルト・シューマ  
ンも右手にジストニアの障害  
があり、ピアニストをやめて  
作曲家になりました。このジ  
ストニアの症状は手の筋肉の  
異常収縮、楽器演奏ができな  
い、手がこわばって字がうま  
く書けない、仕事の細かい動  
作ができないです。音楽家の  
ジストニアではバイオリン、  
ギター演奏ができない。アス  
リートではパターが打てない、  
投球ができないです。その他  
の職業では、美容師、歯科医師、  
時計修理士などにみられます。

原因は、脳内の神経に起き  
る変調にあります。職業性ジ  
ストニアは、同じ動作や姿勢  
を反復的かつ高頻度に長期間  
繰り返すことによって、脳の  
神経になんらかの影響が生じ  
た結果として起きるといわれ  
ています。そのため、身体の一  
部を繊細に繰り返し使用する  
職業の人に多く発症します。  
ジストニアの治療は内服治  
療、ボツリヌス注射、装具装着、  
リハビリが行われますが、改  
善は困難とされています。難  
しい動きはやめて、基本に帰っ  
て正しい運動を焦らずに繰り  
返して、再学習することが良  
いとされています。詳細は手  
外科専門医にご相談下さい。